

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 14 日 更新

事務事業名		災害対策等事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	都市建設部	課長名	坂本 強
	施 策	15	防災対策の推進				所属課	都市計画課	担当者名	村上 淳二
	施策の柱	48	災害予防対策				所属班	都市計画班	(内線)	5263
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 11795	根拠法令			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 3 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	宅地耐震化推進事業の一つ。対象となる大規模盛土造成地について、基礎資料収集整理、現地踏査、地盤調査、安定計算などを行い、変動予測調査を実施する。既存の造成宅地について、大規模盛土造成地の有無とそれらの安全確認（変動予測調査）を進め、住民の滑動崩落被害に関する理解を深める。阪神・淡路大震災や東日本大震災等において、谷や沢を埋めた大規模な造成地で、盛土と地山との境界面や盛土内部をすべり面とする地滑りの変動（活動崩落）が生じ、被害が発生したことが背景にある。熊本県では、大規模盛土造成地マップが平成31年に公表（熊本市を除く）され、合志市においても大規模盛土造成地が確認された。
【業務の流れ】	業務委託費積算、入札、業務委託契約、二次スクリーニング計画、検査、支払い
【主な予算費目】	
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 熊本県が公表した大規模盛土造成地(本市対象19箇所)について、基礎資料収集整理、現地踏査、地盤調査、安定計算などにより変動を予測する調査について委託した。 ※令和4年度当初予算で対応予定だったが、令和3年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害が契機となり、国交省が令和3年度補正予算で盛土緊急対策事業を創設することになった。補助率1/2を確保するため、令和4年3月補正予算に計上、令和4年度への繰越事業とした。 【基準に達しなかった理由】大規模盛土造成地変動予測調査委託の入札残。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 対象大規模盛土造成地の基礎資料収集整理、現地踏査、地盤調査、安定計算などの変動予測調査
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 調査委託	業務	
⇒ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
大規模盛土造成地		⇒ ア
		⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
対象箇所の現状把握		⇒ ア 把握数
		⇒ イ 箇所
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	業務	0	1	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア	箇所	19	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	1,650						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,650						
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	3,300	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,300	0	0	0	0	0	0

事務事業名	災害対策等事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） </p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="height: 100px;"></div>																						